

# 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,628	3,648	△ 20
② 事業収益	486,200	509,440	△ 23,240
経営活性化貸付金利息	346,700	362,800	△ 16,100
創業・事業展開支援貸付金利息	15,500	19,300	△ 3,800
商店街活性化貸付金利息	900	1,000	△ 100
ものづくり設備導入貸付金利息	1,100	1,400	△ 300
経営支援貸付金利息	200	200	0
償却債権回収金	121,800	124,000	△ 2,200
名古屋小規模企業経営力 強化設備投資補助事業受託料	0	740	△ 740
③ 受取補償金	175,000	215,000	△ 40,000
損失補償金	175,000	215,000	△ 40,000
④ 雑収益	9,752	9,792	△ 40
経常収益計	674,580	737,880	△ 63,300
(2) 経常費用			
① 事業費	624,850	688,320	△ 63,470
人件費	238,100	255,600	△ 17,500
物件費	74,770	61,840	12,930
借入金利息	8,700	8,930	△ 230
貸倒引当金繰入額	303,280	361,950	△ 58,670
② 管理費	49,730	49,560	170
人件費	41,500	41,900	△ 400
物件費	8,230	7,660	570
経常費用計	674,580	737,880	△ 63,300
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	0	0	0
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) 〈A+B〉	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額 (D)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (E) 〈C+D〉	0	0	0
一般正味財産期首残高 (F)	523,085	473,164	49,921
一般正味財産期末残高 (G) 〈E+F〉	523,085	473,164	49,921
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	302	304	△ 2
② 一般正味財産への振替額	△ 302	△ 304	2
当期指定正味財産増減額 (H)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (I)	20,000	20,000	0
指定正味財産期末残高 (J) 〈H+I〉	20,000	20,000	0
III 正味財産期末残高 (K) 〈G+J〉	543,085	493,164	49,921

# 収支予算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	3,628	3,628
基本財産運用益	0	3,326	3,326
基本財産運用益振替額	0	302	302
② 事業収益	440,190	46,010	486,200
経営活性化貸付金利息	302,920	43,780	346,700
創業・事業展開支援貸付金利息	13,540	1,960	15,500
商店街活性化貸付金利息	790	110	900
ものづくり設備導入貸付金利息	960	140	1,100
経営支援貸付金利息	180	20	200
償却債権回収金	121,800	0	121,800
名古屋市小規模企業経営力 強化設備投資補助事業受託料	0	0	0
③ 受取補償金	175,000	0	175,000
損失補償金	175,000	0	175,000
④ 雑収益	9,660	92	9,752
受取利息	13	0	13
有価証券運用益	9,647	0	9,647
雑収益	0	92	92
経常収益計	624,850	49,730	674,580
(2) 経常費用			
① 事業費	624,850		624,850
(人件費)	238,100		238,100
給料手当	194,300		194,300
通勤手当	5,700		5,700
退職給付費用	3,000		3,000
福利厚生費	35,100		35,100
(物件費)	74,770		74,770
調査費	4,700		4,700
施策普及費	4,250		4,250
債権管理費	12,000		12,000
委託費	11,500		11,500
会議費	900		900
旅費交通費	420		420
通信費	2,950		2,950
水道光熱費	1,800		1,800
燃料費	430		430
消耗品費	4,400		4,400
租税公課	650		650
修繕費	350		350
賃借料	16,330		16,330
接待交際費	50		50
印刷費	1,400		1,400
図書費	600		600
保険料	460		460
支払手数料	3,200		3,200
研修費	700		700
雑費	480		480
減価償却費	7,200		7,200
(借入金利息)	8,700		8,700
借入金利息	8,700		8,700
(貸倒引当金繰入額)	303,280		303,280
貸倒引当金繰入額	303,280		303,280

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
② 管理費		49,730	49,730
(人件費)		41,500	41,500
役員報酬		13,300	13,300
給料手当		20,700	20,700
通勤手当		1,000	1,000
退職給付費用		300	300
福利厚生費		6,200	6,200
(物件費)		8,230	8,230
会議費		120	120
旅費交通費		100	100
通信費		340	340
水道光熱費		270	270
消耗品費		810	810
租税公課		30	30
修繕費		50	50
賃借料		2,550	2,550
接待交際費		30	30
印刷費		150	150
図書費		180	180
支払手数料		3,150	3,150
研修費		200	200
雑費		150	150
減価償却費		100	100
経常費用計	624,850	49,730	674,580
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	0	0	0
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) 〈A+B〉	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額 (D)	0	0	0
他会計振替額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (F) 〈C+D+E〉	0	0	0
一般正味財産期首残高 (G)	298,647	224,438	523,085
一般正味財産期末残高 (H) 〈F+G〉	298,647	224,438	523,085
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	302	302
基本財産運用益	0	302	302
② 一般正味財産への振替額	0	△ 302	△ 302
一般正味財産への振替額	0	△ 302	△ 302
当期指定正味財産増減額 (I)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (J)	0	20,000	20,000
指定正味財産期末残高 (K) 〈I+J〉	0	20,000	20,000
III 正味財産期末残高 (L) 〈H+K〉	298,647	244,438	543,085

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### (1) 資金調達の見込みについて

(単位：千円)

借入先	金額	使途
名古屋市	16,000,000	経営活性化資金融資制度の融資資金
名古屋市	900,000	創業・事業展開支援資金融資制度の融資資金
名古屋市	200,000	商店街活性化促進資金融資制度の融資資金
名古屋市	600,000	ものづくり設備導入資金融資制度の融資資金
計	17,700,000	

### (2) 設備投資の見込みについて

(単位：千円)

設備投資の内容	金額	資金調達方法
電話交換機及び電話機入替	1,600	運用財産より支出